

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年2月3日（金） NO26 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

人をダメにするコトバ

今日、2月3日に新入生説明会がありました。学校のことを説明したり、部活動の主将が話をしたりする機会があって、6年生の児童にとっては興味深い時間になったと思います。私も少し話をする時間があり「6年生の皆さん、中学校に入学するまでに、この言葉を使わないようになって入学してきてね」と話をしました。それは人をダメにするコトバ「ウザイ」「キモイ」「消えろ」「死ね」「むかつく」この5つの言葉を口にしないということです。この言葉の話は中学生にもしたことがあります。残念ながらどの言葉も「市民権」を得ていて世の中に浸透しています。ウザイはうざったいの略でうっとおしいとかじゃまという意味。消えろはいなくなれという意味。それ以外のご存じのとおりです。この言葉で相当の人間がダメになっているはず。この言葉を学校から排除出来たらそれは素晴らしい居場所になりますし、多くのトラブルを防ぐことができます。人間はそんなこと言われたらいやだと分かっているのに、いとも簡単に口にするのは「そのコトバで傷つく相手のことを、自分のこととしてとらえない」からです。日常生活の会話の中で、つい口にしてしまうのだと思います。1月30日の宮日新聞には、県内の事業所で働く人や雇用主からの相談に応じる県労働委員会の記事が載せてあり、本年度寄せられた相談件数は357件で、その内容で一番多かったのが「パワハラ・嫌がらせ」だったそうです。しかも業種別で見ると「医療・福祉」が全体の3割を占めると書いてあります。弱者に寄り添う医療・福祉系の分野が多いとは意外ですが、医療や福祉の仕事は人手不足なのだそうです。とは言っても、残念ながら大人の世界でも人をダメにするコトバがはびこっているのでしょうか。世の中を見ると、いろんなところで悪さを働いたり、迷惑をかけたりする人がいますけど、殆どの方は真面目にコツコツと仕事をして働いています。そんな人が一発でダメになるような言葉を絶対に口にしてはいけないということです。言われた人間のメンタルが強いとか弱いとかの問題ではありません。コトバは凶器です。言葉で人が傷つくならばそれは立派な犯罪であり人災です。そのことを忘れず、そして私を含めて、自分の言葉に責任をもたなければいけないと思います。

プライドな
言葉が
ズンズン
と
呼ぶ